



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

過熱する次世代電池の開発競争 「全固体フッ化物イオン電池」が切り拓く未来

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 よく読まれている記事！

1 2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
100283Views
OTEMON VIEW編集部

2 2022.10.07 社会と暮らし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
69252Views
OTEMON VIEW編集部

3 2021.03.05 社会と暮らし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
34567Views
OTEMON VIEW編集部

4 2022.12.20 社会と暮らし
元マルサの指揮官が語る「国税専門官」の仕事とキャリアパスのリアル。
31683Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

電気自動車（EV）への期待などに伴い、より高いエネルギー密度を持つ次世代電池の開発が期待されています。現在、次世代電池の有力候補とされているのが、国内の自動車メーカーも開発に力を入れている「全固体フッ化物イオン電池」です。

今回は新たな電池開発の実現に向け研究を進める高見 剛教授に、現時点で主流のリチウムイオン電池や、研究が進むフッ化物イオン電池の課題、そして、次世代電池が切り拓く未来について解説いただきます。

(以下は主なポイント)

蓄電池の代表格・リチウムイオン電池をめぐる現状

- ノーベル化学賞につながったリチウムイオン電池開発
- 過熱する次世代電池の開発競争

全固体フッ化物イオン電池への期待

- 革新型電池としてのフッ化物イオン電池
- 実用化に向けた高見研究室の現在地

全固体フッ化物イオン電池が描く未来

- クリーンエネルギーの拡大や宇宙産業につながる未来へ

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/3426/>

2024.09.07

OTEMON VIEW編集部 | 社会と暮らし



0

過熱する次世代電池の開発競争「全固体フッ化物イオン電池」が切り拓く未来



高見 剛 (たかみ つよし)

追手門学院大学 理工学部(※)

教授

専門：電気電子材料、エネルギー材料、無機化学、固体物理

エネルギー密度

リチウムイオン電池

全固体フッ化物イオン電池

固体電解質

次世代電池

記事イメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL : 072-641-9590

仲西・織田